

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺観光コンベンション協会事業補助			事業番号	008-001
担当部署名	文化観光	局	観光	部	観光推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	延べ宿泊者数		
		寄与するKPI	有	現状値	1,031,854人(2018年)	目標値	1,400,000人(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(8)働きがも経済成長も	ターゲット	8.9	
		有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺観光戦略		
3	事業開始年度	昭和 56 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公益社団法人堺観光コンベンション協会事業補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	公益社団法人堺観光コンベンション協会	対象数	-	単位	-
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺観光コンベンション協会が実施する観光宣伝事業、コンベンション事業、堺まつり事業への補助を通じ、同協会を含めた市内観光関連事業者との公民連携による観光誘客及び市内周遊の促進を図る。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	堺観光コンベンション協会が実施する以下の事業に対して補助金を交付する。 ○観光宣伝事業 ・協会HP「堺観光ガイド」やInstagramなどのSNSによる堺観光の情報発信 ・着地型旅行商品の開発・販売の実施 ・紐とけば堺の実施 ・NPO法人堺観光ボランティアガイドと連携した観光施設等での定点ガイドの実施 ・3か所の観光案内所の運営、堺フィルムオフィスの運営、パンフレットの作成等の実施 (令和5年度新規取組) ・デジタル技術を活用した観光ガイドによる周遊促進事業の実施 ・伝統産業等を活用した体験型コンテンツの強化 ・内川河川敷エリアのオープン化モデル事業の実施 ○コンベンション事業 (堺ホテル協会、大阪観光局等と連携し、スポーツ関連事業の誘致を促進) ○堺まつり事業				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益社団法人堺観光コンベンション協会				
10	公民連携・協働事業	堺観光ボランティア協会と連携した定点ガイドの実施				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
				目標値	(大仙)25・(環濠)160	(大仙)30・(環濠)200	(大仙)35・(環濠)220	(大仙)60・(環濠)300
				実績値	(大仙)18.2・(環濠)176.9	(大仙)22.6・(環濠)188.9		
	達成率	-	-					
	当該指標を選定した理由	堺市基本計画2025及び堺観光戦略(令和3～7年度)で設定したKPI。						
	目標値の設定根拠・算出方法	上記計画において設定されている令和7年度のKPI達成に向けた年次目標として設定。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
				目標値	3,100,000	2,090,000	2,310,000	
				実績値	1,707,285	2,200,529		
	達成率	55%	105%					
	当該指標を選定した理由	堺の歴史文化や観光資源をはじめとする魅力を分かりやすく発信しており、堺を観光する際の情報収集先として活用されているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和4年度実績値の5%増を目標値として設定。						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺観光コンベンション協会事業補助	事業番号	008-001
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	252,842	207,080	286,667	244,531	249,094
13 財源内訳	国支出金		8,000	8,000	
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
	一般財源	252,842	207,080	278,667	236,531
14 人件費 (b)	2,460	4,100	4,100	4,100	4,050
15 年間経費(c)=(a)+(b)	255,302	211,180	290,767	248,631	253,144

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	観光宣伝事業費	R4 決算	169,336	166,336		R4	決算	
		R5 予算	178,980	178,980		R5	予算	
	堺まつり事業費	R4 決算	72,438	67,438		R4	決算	
		R5 予算	65,000	65,000		R5	予算	
	コンベンション事業費	R4 決算	2,757	2,757		R4	決算	
		R5 予算	5,114	5,114		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
	R4 決算				R4	決算		
	R5 予算				R5	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① エリア別訪問者数 (大仙公園エリア+環濠エリア)	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	211,180	248,631
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	108	118
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和4年度は、第49回堺まつりの開催、国・府主導による観光需要喚起策を活用した着地型商品の造成・販売など観光誘客及び市内周遊の促進に資する事業を実施した。新型コロナウイルスにより中止していた堺まつりなどが開催されたことでR3-R4にかけてにコストが増加しているものの、成果指標であるエリア別訪問者数を前年度から増加させることができた。今後、一層費用対効果を高めるため、堺観光コンベンション協会において、観光誘客や市内周遊の取組を強化するほか、協賛金の獲得など自主財源の確保に努める。</p>
----	--

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、第49回堺まつりを3年ぶりに開催し、延べ38.4万人の来場者があり、成果指標であるエリア別訪問者数の増加に寄与した。 ・国・府主導による観光需要喚起策を活用した着地型商品の造成・販売などにより、基本計画における取組の方向性である観光消費拡大を促進した。 ・これまで春季と秋季に実施していた「堺文化財特別公開」を周遊型イベント「紐とけば堺 春旅・秋旅」にリニューアルし、堺の魅力ある歴史・文化・伝統だけでなく、若い層を含め幅広い年代に関心をもっていただく集客イベントとすることで、延べ1.8万人の来場者があり、成果指標であるエリア別訪問者数の増加に寄与した。
----	--